

- 経理上手くんα ProⅡ 【宗教法人】 VERSION:10.007
- 経理上手くんαクラウド ProⅡ 【宗教法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ 【宗教法人】 VERSION:10.007

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 登録・入力
  - 仕訳入力画面からの証憑読取時に「原票」→「証憑」に変更しました。
  - 証憑読取時の AI 摘要に対応しました。
  - 証憑読取で複数ページある PDF の読取に対応しました。  
※原票読取は電帳法オプション契約のみ利用可能です。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人 d b (VERSION: 10.007) の変更点**”を参照してください。

## ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 宗教法人 d b (VERSION:10.007) の変更点

## 改良

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

<原票読取（※電帳法オプション契約のみ）>

①仕訳入力画面からの証憑読取時に「原票」→「証憑」に変更しました。



②オプション内に認識科目設定を追加しました。

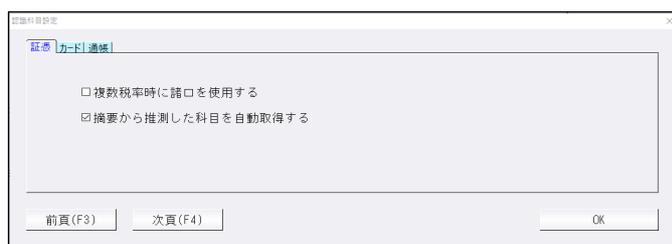
- ・複数税率時に諸口を使用する

チェックを付けると、複数税率の証憑を読み取ったときに諸口を使用して仕訳を作成します。

- ・「摘要から推測した科目を自動取得する

AI 認識を行うかどうかの設定ができます。初期値はチェックが付いています。

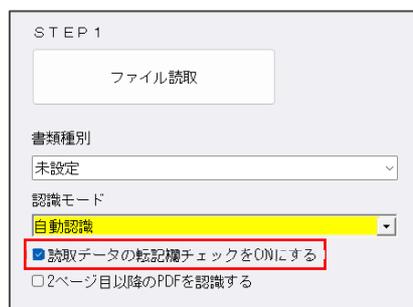
※カード、通帳読取においても「摘要から推測した科目を自動取得する」の設定が追加されました。



③証憑読取で認識モードを「レシート」「レシート以外（領収書・請求書）」から「自動認識」に変更しました。「自動認識」「認識なし」から選択します。

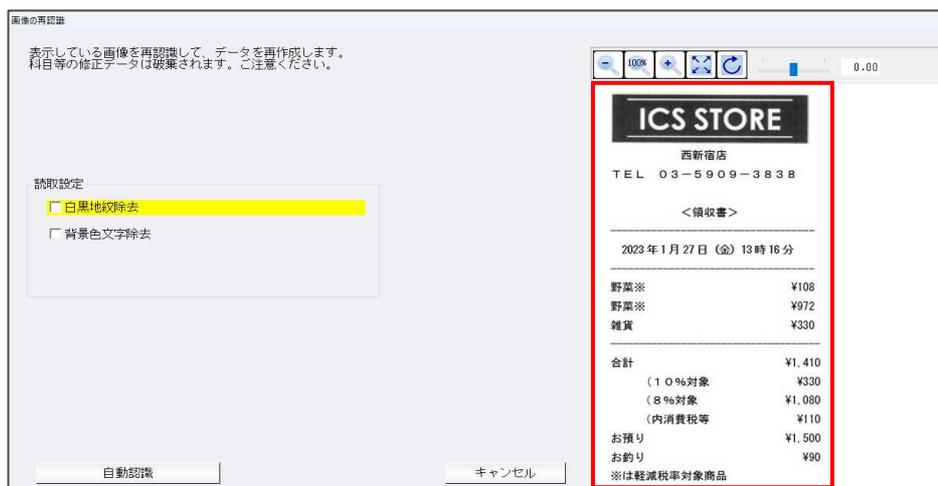
④証憑読取で複数ページある PDF の読取に対応しました。

「2 ページ目以降の PDF を認識する」にチェックを付けることで、2 ページ目以降の認識もできるように対応しました。※初期値ではチェックは付きません。



⑤原票表示入力画面に[F5 再認識]において再認識時にフォーマットの呼出、読取エリアの設定、画像の回転補正、読取設定ができるように対応しました。

[自動認識]をクリックすることで再度読み取りを行います。



### ●画像の回転補正



-20°~+20°までの幅で設定できるようになります。

- ・バーをドラッグすることで調整ができます。
- ・バーの位置より右側部分をクリックすることで、+8.00 変動します。  
※同様にバーの位置より左側部分をクリックすると、-8.00 変動します。
- ・バーにフォーカスがある状態で、左右のカーソルキー押下で±0.01 毎の操作も可能です。

### ●読取設定



- ・白黒地紋除去：背景の白黒地紋を除去して認識を行います。
- ・背景色文字除去：背景に記載されている文字を除去して認識を行います。  
どちらか片方のみ選択可能となります。

⑥カード明細読取・通帳読取の原票表示画面において、科目のみ再認識を行う[科目再取得]のボタンを追加しました。[科目再取得]を使用することで、[F5 再認識]とは異なり科目のみ摘要から再取得することができます。

番号	カード名称	金融機関名	支店名	口座番号	IS									
6	楽天カード	三菱UFJ銀行	新宿中央支店	普通4484***										
番号	転記	日付	伝票	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	変	摘要			
1	☑	05-09.27			未	払	金	192,385	17,487	内10				
全選択/全解除						科目再取得	明細金額合計: 213,775		← 前頁	→ 次頁	1/3	方向: 右	摘要登録	
番号	転記	日付	伝票	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	変	摘要			
2	☑	05-08.31			旅	費	交通費	未	払	金	14,920	1,358	内10 /課売	ｽｰﾄﾞｲﾝｸﾞ ｼﾞｪｯﾌﾟ

- ・科目再取得をクリックすると下記メッセージが表示されます。



《メッセージの選択項目》

- 空欄行のみ … 科目が空欄の行のみ再取得を行います。
- 全行 … 全ての行で再取得を行います。
- キャンセル … 再取得を行わず、メッセージを終了します。

- ・科目の取得方法は再認識時と同様で、今回対応を行った認識科目設定の「摘要から推測した科目を自動取得する」のON/OFFを加味して取得を行います。

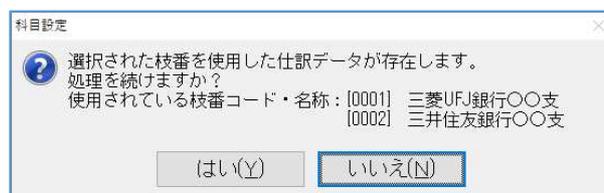
## 2) 科目設定・残高登録

- ①任意の複数の枝番を一括で削除できるよう対応しました。

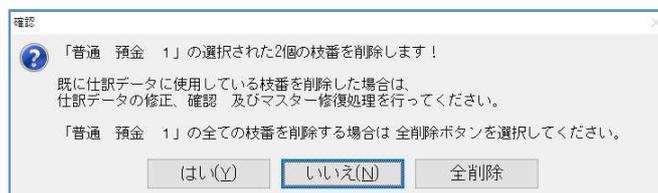
Ctrl を押下しながら複数の任意の枝番を指定したり、Shift を押下しながら範囲指定をして削除を押すことで、複数の枝番をまとめて削除することができます。



削除対象の枝番の中に仕訳で使用している枝番がある場合は下記メッセージが表示されます。



削除する際のメッセージに関しては従来通りとなります。



# 修正

## I. 導入・更新

### 1) 仕訳入力

- ①仕訳区分で棚卸調整加算・減算を選択している仮払消費税の仕訳に対して「免税事業者等からの課税仕入れ」のチェックは付けられないようになっていますが、一括修正を行った場合はチェックが付けられていたのを修正しました。
- ②通帳読取画面で支店科目登録をして、編集・タイムスタンプ（通帳）で摘要登録をした場合に銀行 CSV 取込業務で使用する摘要設定の初期値として入るよう修正しました。  
初期値として入らなかった為、銀行 CSV 取込業務で摘要登録したはずの摘要を読み取っても仕訳転記摘要が空欄になっていました。
- ③期末が令和 5 年 9 月以前のマスターで、科目設定で科目属性を「仕入割引」「売上割引」「販売奨励金収入」「販売奨励金費用」「非課税輸出売上」の設定をし、該当科目で仕訳を入力した際に仕訳区分が表示されてしまっていたのを修正しました。  
※バージョンアップ後、仕訳入力を開くと仕訳入力画面上では消費税欄から該当仕訳区分の表示が消えますが、該当の仕訳の番号欄以外を選択してから別の仕訳等に移動する等して消費税欄の背景がピンクになって書き換わらない限りは、元帳等では仕訳区分が残ったままになりますのでご注意ください。

### 2) 残高問合せ

- ①部門を選択し、日指定で[F6 条件設定]において「部門表示方法」を「科目」とした場合、一部の科目の表示位置がおかしくなっていたのを修正しました。

●条件

- ・部門を選択
- ・日指定
- ・F6 条件設定の部門表示方法で科目を選択
- ・科目順変更で小分類内で科目順変更を行う。

例) 当座預金 1 と当座預金 2 に発生があり、科目順変更で順番を入れ替えた場合)

税 込		税 抜		込 差 混 在		日指定												
部門		1: A		日指定		05 年 04 月 01 日 ~ 05 年 04 月 30 日												
種 別	取 入	支 出	比較残高	推移残高	推移損益													
現 金	勘定科目		前月残高	借方発生	貸方発生	当月残高												
現 金	1: A		0	0	200,000	-200,000												
	2: B		0	0	400,000	-400,000												
小 計			0	0	600,000	-600,000												
当座 預金 2	1: A		0	100,000	0	100,000												
当座 預金 1	2: B		0	200,000	0	200,000												
小 計			0	300,000	0	300,000												
1: A			0	100,000	0	100,000												
2: B			0	200,000	0	200,000												
小 計			0	300,000	0	300,000												

### 3) 新規会社登録・修正・削除

- ①本来設定の出来ない期末年月日に変更ができてしまっていたのを修正しました。  
例) 9/30 の仕訳がある状態で、期末年月日を 9/30 以前に設定し「期間外の仕訳が削除される可能性がある為、決算期間を変更することができません。」と表示された後に修正書込みをすると、表示上の期末年月日は元の期末年月日のままですが、締日が元に戻っておらず内部的には変更ができてしまっていました。
- ②過年度のあるマスターで、特定の手順で当年度のコードのみ不正に変更できてしまっていたのを修正しました。

#### 4) 科目設定・残高登録

①決算期間の期末が令和5年9月30日以前の場合、適格請求書発行事業者照合リストの判定が不正になつてのを修正しました。

●期末が令和5年10月1日以降の場合

- ：決算期間を通して有効
- △：決算期間内の一部期間で向こう
- ×：決算期間を通して無効
- ：オフライン環境のため判定不能

●期末が令和5年9月30日以前の場合  
(修正前)

- ：決算期間を通して有効
- △：決算期間内の一部期間で向こう
- ×：決算期間を通して無効
- ：オフライン環境のため判定不能

(修正後)

- ：令和5年10月1日より前になるので判定不能

## II. 出力

### 1) 消費税仕訳帳

①別記で免税事業者等からの仕入れがある場合に、「外税 免税 80」欄の税額を表示するように修正しました。また、複数税率の別記仕訳が存在する場合、税額計算が正しくなかったのを修正しました。

消 費 税 仕 訳 帳					
[00000011]	(0711) 消 耗 品 費 [税込]				No. 1
5年					
日付	相手科目	税区分	伝票	措 要	金 額
4. 1	現 金 別10免80				102,000
	現 金 別軽免80				101,600
※ 4 月 計 ※					
	課税合計		< 8%軽減 >	< 10% >	< 税額 >
	(内税)		101,600	102,000	14,400
	(内税 免税80)				
	(外税)				
	(外税 免税80)		101,600	102,000	14,400
	非課税合計				
	不課税・対象外合計				
	仕訳合計		101,600	102,000	

別記入入力した仕訳の「免税 80」欄の「消費税額」は、本体仕訳の金額より下記の計算式により自動算出します。

- ・ 10%：金額×8/102
- ・ 8%（軽減）、8%：金額×6.4/101.6
- ・ 5%：金額×4/101

※本体仕訳の金額を控除割合を加味した後の金額で入力している前提の計算式となっています。

その為、計算式上の割合については、その前提の金額から消費税額を求める為の割合となっています。

②令和5年10月以降の税額計算について、令和5年9月以前と同様経理処理設定の「積み上げ方式・総額方式」を参照して計算していましたが、税額計算設定（売上・仕入）を参照して計算するように修正しました。

同一月で計算方法が異なる設定になっている場合の計算にも対応するよう修正しました。

③一括税抜マスターで個別対応方式の場合、「免税事業者等からの課税仕入れ」の設定をしている仕訳を税額欄に集計する際、控除割合が100%の数字で集計されていたのを修正しました。

消費税仕訳帳			
[00000111] サンプル			
5年	(0711) 消耗品費	[一括]	No. 1
目付	相手科目	税区分	金額
10. 1	現金	内10免80 /課	100,000
※ 10 月 計 ※			
課税合計		< 10% >	< 税額 >
(内税)		100,000	7,272
(内税 免税80)		100,000	7,272
(外税)			
(外税 免税80)			
非課税合計			
不課税・対象外合計			
仕訳合計		100,000	
課税売上に係る仕入合計		100,000	9,090
(内税)		100,000	9,090
(外税)			
非課税売上に係る仕入合計			
(内税)			
(外税)			
共通の売上に係る仕入合計			
(内税)			
(外税)			

## 2) 消費税元帳

①一括税抜方式で消費税元帳をプレビューした後に、画面表示または再度プレビューをすると税額が表示されない場合や税額の表示が異なる等の現象が発生していたのを修正しました。

## Ⅲ. 表形式

### 1) 表形式仕訳データ取込、表形式出納帳データ取込、表形式振替伝票データ取込

①下記条件に該当する場合、データの取り込みに時間がかかっていたのを修正しました。

- ・「枝番摘要を変換する」にチェックが付いている
- ・フォーマットの「免税事業者等」項目欄が空欄になっている

以上